

一般演題ポスター発表・討論（中会議室）

11月25日（土） 10:15-11:00 奇数番号、11:00-11:45 偶数番号、◎は優秀発表賞対象者

No.	タイトル	発表者	所属
1	ブルーネイティブ電気泳動を利用する新規メタロタンパク質単離法：ホロ/アポ変換二次元MICS-BN-PAGE	◎石川順子	埼玉大院・理工
2	貝類筋肉におけるキャッチ収縮関連タンパク質の比較解析	大石正道	北里大学・理学部・物理学科
3	二次元電気泳動法による昆虫筋肉タンパク質成分の部域差及び種間差の解析	◎安藤凌汰	北里大学大学院理学研究科
4	ペプチドライブラリーを用いたenzymomicsプラットフォームの構築	小松徹	東大院薬
5	ノアサガオ花内のファイトケミカルの分布変化	梶原英之	農研機構
6	ルテオウイルスの高速PCRと質量分析による迅速な検出	村上理都子	農研機構
7	蛍光クエンチングを用いる脱リン酸化酵素活性の新規蛍光分析法の開発	◎芝晃生	広島大院・医歯薬保健学・医薬分子機能科学
8	自己抗体を利用した膀胱癌患者におけるBCG療法の再発予測マーカー探索	◎井上航	北里大院・医療系・応用腫瘍病理学
9	肺腺癌患者における術後補助化学療法の治療効果予測マーカーの探索	◎朽津有紀	北里大院・医療系・応用腫瘍病理学
10	肺腺癌組織におけるUGDH発現の臨床的意義	◎萩生田大介	北里大院・医療系・応用腫瘍病理学
11	サイノプレートを用いたタンパク質の分画	井野洋子	横浜市立大・先端医科学研究センター
12	分子マトリックス電気泳動を用いた顎下腺ムチン分析法	亀山昭彦	産総研・創薬基盤研究部門
13	肺腺癌におけるNAP1L1発現の診断的有用性について	◎長塩亮	北里大・医療衛生・臨床検査
14	マルチPK抗体とPhos-tag 2D-PAGEを組み合わせたプロテインキナーゼのプロファイル法	◎上里裕樹	香川大・農・応用生物学
15	マイクロ非変性等電点電気泳動法と培養技術を組み合わせたリゾチーム複合体の活性解析	島崎洋次	愛媛大院・理工
16	中皮腫マーカー・HEG1の同定と解析	松浦利絵子	神奈川県立がんセンター臨床研究所
17	核酸アプタマー(SOMAscan)による肝細胞癌の腫瘍組織のプロテオーム解析：脈管侵襲に関連するタンパク質の同定	◎喬志偉	国立がん研究センター研究所
18	尿中 α 1-アンチトリプシンのがんスクリーニングマーカーとしての評価	松本浩幸	浜松ホトニクス株式会社・中央研究所
19	PAPS合成酵素アイソフォームの生理機能解明	◎上中勝護	宮崎大・農・応生科
20	リン酸基特異的リガンドを用いた新規電気泳動法によるRNA末端化学構造の網羅的解析	◎黒木大海	豊橋技術科学大学
21	高齢者の縦断調査血液サンプルを用いた初期の認知機能低下に関するプロテオミクス解析	三浦ゆり	東京都健康長寿医セ研・老化機構
22	GKラット腎臓のプロテオーム変化と組織の線維化	◎早川敦子	芝浦工業大学大学院・分子細胞生物学
23	皮膚T細胞リンパ腫においてSrc経路はHDAC阻害薬との併用ターゲットになり得る	◎地村望	鹿児島大学皮膚科
24	アガロースゲル電気泳動による金ナノ粒子を用いた標的DNAのサブpM検出	江刺家恵子	慶大理工

25日
（土）

一般演題ポスター発表・討論（中会議室）

11月25日（土） 10:15-11:00 奇数番号、11:00-11:45 偶数番号、◎は優秀発表賞対象者

	No.	タイトル	発表者	所属
25日 (土)	25	PDMAコートキャピラリーを用いた紫外外部吸収検出によるIEF条件の基礎検討	長井俊彦	福島医大・医・先端化学分野
	26	APCIEFによるエリスロポエチン等電点バリエーション分析の最適化	志村清仁	福島医大・医・先端化学分野
	27	骨髄腫細胞株に発現する糖転移酵素の解析	◎光永あかね	文京学院大学大学院保健医療科学研究科
	28	メサングウム細胞由来エクソソームの機能解析	◎繁田英佳	文京学院大学大学院保健医療科学研究科
	29	刺激による鼻粘膜上皮バリア機能変化の非侵襲的評価法の検討	◎高橋天使	文京学院大学大学院保健医療科学研究科
	30	イヌ、ネコのSDS-アガロースゲル電気泳動法と尿タンパク分画パターン解析の有用性	◎大山健斗	文京学院大学大学院保健医療科学研究科
	31	非リン酸化型プロテインキナーゼの簡易調製法の開発とそれを活用した高活性型CK1の取得	◎秋月一駿	香川大・農・応用生物科学
	32	尿中単クローン性BJPの電気泳動による高感度検出	田中経彦	山口大学院・医・基礎検査学
	33	細胞内情報伝達におけるMEK1リン酸化種の動態解析	◎谷口翼	広島大・薬・医薬分子機能科学
	34	Phos-tag SDS-PAGEを基盤としたin vitro キナーゼアッセイ法～宿主細胞に由来する偽陽性のキナーゼ活性を見極める有効手段～	◎藤田萌々子	広島大・薬・医薬分子機能科学
	35	ハイブリッドヒスチジンキナーゼにおけるリン酸基転移反応様式の検証	◎池上まどか	広島大・薬・医薬分子機能科学
	36	Phos-tag SDS-PAGEの移動度に影響を及ぼすリン酸基以外の要因	木下恵美子	広島大院・医歯薬保健学・医薬分子機能科学